



# 日刊 動力労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043(222)7207 番

94.11.15 No. 4094

貨物大合理化を狙う「中長期計画」の第一歩

# 動乗勤改悪を許すな！

# 貨物12月ダイ改阻止へ

**12月ダイ改阻止!!**  
中労委・労働省に  
**スト 通知**  
を行なう!! (11/14)

- 1、水戸機関区の検修業務について、部外委託計画を中止すること。
- 2、佐倉機関区における当直助役の日勤化計画を中止すること。
- 3、隔日交代の休憩時間は、夜間に連続して5時間以上確保すること。
- 4、年休および休日等が完全取得できる要員体制とすること。
- 5、佐倉機関区B43仕業について、夕食時間を確保すること。
- 6、大網駅5番線について、踏切改善を実施すること。
  - (1) 第2大網踏切レールを50Kレールに換えること。
  - (2) 第2岩谷踏切を第1種化すること。

貨物協議会は、九月二十九日の貨物関東支社の、一二月ダイ改、要員・労働条件の提案ののち、役員会を三回にわたり開催した。この中で、①佐倉機関区当直の日勤化、②新小岩機関区検修等の隔日交代勤務の終業時刻、③水戸機関区検修業務の全面部外委託、の三点を中心に解明要求を行なうこととして、一〇月二一日動労総連合申一八号で申し入れを行なった。

当直の日勤化は、日勤の時間帯以外には、助役が不在となることから、A・B運用を持つている佐倉では、他の隔日交代勤務者(乗務員・検修各一名)に

その代行を行なわせようとするものであり、乗務員にとつても指令・指示を含めて問題がある内容になっている。新小岩の検修では仕業検査を二人一組で行なっているが、終了時刻がそれぞれ違うという勤務を指定している。又、水戸の検修は、貨車関係であるが、それを福島臨海鉄道に全面委託するものである。そして一二月二日に関東支社で交渉が行なわれたが、十分な回答とはいえないものであった。その上で、十一月八日に総連合申二二号として、別紙の申し入れを発売し、一八日に関東

支社で交渉が行なわれる。

## 動乗勤改悪を許すな!

JR貨物は、動乗勤改悪を含めた就業規則の改悪を発表した。これは、日貨労、貨物鉄産労が、動乗勤改悪に全面的に協力した

結果である。貨物の動乗勤改悪は、「中長期計画」の第一段階である「緊急三カ年計画(三年後に八〇〇〇人体制)」の主要な柱となる基地統廃合に向けた重大な攻撃だ。全力で一二月ダイ改阻止を闘おう!

## 配転問題で団交(二月二日) 配転者を原職にもどせ!

千葉支社当局は、「塩漬け」状態に置かれている動労千葉の強制配転者をまたもたらしい回し的に再配転した。再配転されたのは、長浦の売店に置かれていた杉本君(総武支部書記次長)。再配転先は東船橋駅JC店(コンビニ)である。

この再配転について十一日に団交が行なわれたが、当局の回答は、またも「任用の基準に基づいて行なった」とのみ、何度となく繰り返す断じて許すことのできないものだった。

## またもJR総連を土職に登用!

しかも、この間当局は、支社指令員から車掌経験もない三名の予科生を運転士に登用し、さらに、二年前に入社した者の八

ンドル訓練を開始している。

わずか三カ月半前、やはり再配転をめぐる交渉の席上、「車掌や営業には過員がいても、士職に要員の余裕をもつ考えはないから、運転士に戻すことはできない」と言った舌のねも乾かぬうちに、JR総連の組合員だけは、土職登用を行なおうというのだ。動労千葉の組合員を戻さない理由をデッチ上げるために、団交の席でウソまでついたということだ。許せない!

十一日の団交でも、「前回の団交で言ったことは真つ赤なウソだったということではないか」と追及するとシドロモドロ。まともな回答は返ってこない。こんなことをまかり通らすことはできない! 千葉支社は、不当労働行為を直ちに止め、配転者を原職に戻せ!